

# 令和元年度事業報告書

特定非営利活動法人 ネクスト

## 1. 活動の成果

### はじめに

障がい者の働く場の確保と自立した社会生活を送れるように支援を行うことを目的に平成24年11月設立、同年12月事業を開始した特定非営利活動法人ネクストは第9期を迎えることとなりました。

特定非営利活動法人ネクストは、「A型事業所ネクスト」「多機能型事業所econte（就B・就移）」の3サービスを提供してきました。しかし「econte」は多機能型として力を分散するよりは、「B型事業」に専念してもこれまで以上の障がい福祉サービスの提供ができるのではないかと考え、令和元年7月末で「就労移行支援サービス」の提供を終了し、8月以降はB型事業所としてより専門的なサービス提供に努めています。

令和元年度は年間通じて50名前後の方に利用いただき、利用者数は安定した推移となっています。個々の希望や適性に応じて、「A型からB型へ」「B型からA型へ」と移動を行ったり、他の福祉サービス事業所や一般就労への移行支援を行ったりするなど、これまでの活動の継続・発展に取り組みました。その成果として「ネクスト」からは1名の方が一般就労へ、また「econte」からは5名の方が一般就労へ、そして2名の方がA型事業所への移行を果たすという輝かしい成果を得ることができました。

### A型「ネクスト」設立～B型「econte」併設へ

ネクストはA型事業所として活動を開始しましたが、地域の障がい者就労支援のニーズを読み取り、基礎的な就労訓練の必要性を感じ、B型事業所を併設するに至りました。B型サービス開始により、地域の特別支援学校から実習生、卒業生の受入数が大幅に増加しました。それらの支援学校との結びつきをさらに強めるために、近隣の学校機関とともに様々な活動に取り組みました。

### 学校機関との連携の深化

#### ～修学（卒業）から就労へ直接つながる支援体制の確立を目指して～

令和元年度も特別支援学校からの校外実習の受入を行い、2校から複数名の実習生受け入れを行いました。実習生の担当教諭やほとんどの保護者の方が実習期間中に見学に来られることもあり、「生徒・保護者・学校・事業所」の4者が信頼関係を築けるような活動へと深化しています。この取り組みの結果、毎年数名の実習生の方が卒業後、ネクスト（A型・B型）の利用を開始されています。また支援学校カリキュラム以外にも、長期休業期間中にインターンシップとし

での体験利用の受け入れも開始しましたところ、冬季・春季休業期間中に数名の方の申し込みをいただきました。この活動が支援学校カリキュラムの校外実習利用へと結びついていくことを願っています。

支援学校との結びつきは強くなり、支援学校からネクストへという道のりは出来上がりつつあるように感じていますので、今後はネクストから一般就労へという道を開拓し、「支援学校→福祉サービス事業所→一般就労」というステップアップ体制の構築につなげていきたいと考えています。

### **地域貢献事業：～学校機関への資源ごみ提供活動～**

28年1月、「修学から就労へ」の取り組みの一環として活動を開始した近隣小中学校や特別支援学校への資源ごみ提供活動は、令和元年度も年間を通して活動を継続することができました。今年度も昨年度同様、利用者の方の就労訓練の一環として回収・提供活動を手伝っていただけただけなので、アルミ缶 113 kg、ダンボール・古紙などの資源ごみ 550 kgと前年に引き続き非常にたくさんの資源ごみを提供することができました。また小中学校の資源ごみ提供の際に、30年度に「清水基金」よりご支援いただきました2tトラックを使用して提供に伺えたことで、効率的にたくさんの資源運搬が可能となっています。今後もこれらの地域貢献活動を継続し、近隣小中学校や特別支援学校との交流を深め、「修学から就労への支援」の一助となるよう令和2年度も継続していきます。

### **二つの役割：～就労場所の提供という役割・通過点としての役割～**

ネクスト開設当初は、障がい者の就労できる企業・施設がほとんどない地域で障がい者の方に「就労の場を提供する」ということが第一の目的でした。ここ数年ネクストの認知度は高まり、地域の方々はもちろん近隣の障がい者支援にかかわる社会資源との連携が深まり、多くの方々に利用いただけるようになっていきました。「就労の場を提供する」という役割については地域での評価をいただけるようになったと感じています。

そして令和元年度は法人全体で6名の方が一般就労に移行するという大きな成果を残すことができました。就労支援事業所で一般就労に送り出すという成果を残している事業所は数少なく、また仮に送り出せたとしても1～2名しか送り出すことができていない状況の中、A型・B型で計6名を一般へと送り出した実績は輝かしいものであると考えています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響等により、一般就労への移行は困難な時期となることが予想されますが、景気回復した時に備えて利用者の方の就労能力を高め、今後の移行につなげていきたいと考えています。またその時に必要とされる人材へとつながりやすいよう、運転免許等の資格取得支援にも力を入れていきたいと考えています。

## 資格取得支援事業：～ステップアップしていける就労支援を目指して～

### これまでの取組

ネクストでは公共交通機関の発達していない地域の現状を考慮して、利用者の方の運転免許資格取得支援に力を入れてきました。私たちの活動する地域では一人一台車が必要と言われるくらい交通の便が悪い地域となっており、一般就労をめざすうえではもちろん、日常生活を送るうえでも移動手段の確保は必要な課題と言えます。そこでネクストでは開設以来、利用者の方の免許取得支援に力を入れてきました。支援内容としては「教習所や運転免許試験センターへの無料送迎」「事業所での勉強会の実施」などに取組みましたが、それらの支援の成果が実を結び、これまでに7名（A型6名、B型1名／普通自動車4名、自動二輪1名、原付2名）が免許を取得しています。その結果1名は一般就労への移行を実現し、4名は事業所の送迎利用から自力通所へと切り替えを果たしており、一般就労移行を視野に入れる段階にステップアップしています。

上記の通り運転免許取得は、当地域では一般就労移行に必要な最低限の資格であると言えます。ただ、運転免許があるだけでは一般就労移行は困難で、仮に移行できたとしても長く定着していくことはさらに困難であると感じています。そこでネクストでは平成29年度から、一般事業所に移行した後でも役に立つ資格として「フォークリフト資格取得支援」を開始しました。

### 新たな取り組み

「フォークリフト資格取得支援」の具体的な支援内容は、「受講費用の全額を法人で負担」「受講時間も勤務時間に算入することで、受講中の給与保障」を行い、利用者の方の負担無くフォークリフト資格を取得していただく取り組みとなっており、取得された方には事業所でのフォークリフト業務に従事していただいています。この取り組みによりこれまで2名の利用者の方がフォークリフト資格を取得し、事業所でのフォークリフト業務に従事していただくようになっています。資格取得し、実際にフォークリフト業務に従事するなかで、物流に関連した一般就労移行を検討し始めた方もいらっしゃるなど、この取り組みは新たな道を開拓する基礎となりつつあります。令和元年度も1名の方がフォークリフト資格取得にチャレンジしましたが、良い結果には結び付きませんでした。しかしこの取り組みは令和2年にも実施する予定で、事業所で資格取得された方を一般就労へ送り出していけるよう支援していきたいと思っています。

## 2.ネクストの事業

### 【布団リサイクル事業】

令和元年度も地元繊維会社フロンティア株式会社から受注している不要布

団を原料としたリサイクル寝具の製造に取り組みました。

原料となる不要布団の回収先は元年度 1 か所増加し（岐阜県安八郡）、10 市 3 町 8 か所のクリーンセンターへと広がっています。また、それ以外の複数の市町から布団回収に関する問い合わせをいただいております。今後も回収量は増加し、布団リサイクル事業は拡大することが予想されます。布団リサイクル事業は障がい者就労、環境保全という「福祉」「環境」2 つの社会的課題に寄与できる活動として、今後も継続・拡大していきたいと考えています。

## 廃棄布団の回収実績

【参考】 布団回収実績（平成 31 年 1 月～令和元年 12 月）

回収先	重さ	枚数
自治体クリーンセンター	180,033 kg (前年度比 +12,143 kg)	72,586 枚 (前年度比 +4,880 枚)

### 回収先自治体（※別紙 参照）

加西市、小野市、加東市、西脇市、多可郡多可町、養父市、朝来市、大和郡山市、加古川市、枚方市、丹波市、岐阜県安八郡輪之内町・安八町

令和元年度は新たに岐阜県安八郡輪之内町・安八町からの不要布団回収も開始しました。上記クリーンセンターからの回収以外にも近年では地域住民の方がリフレッシュセンターや econte に不要となった布団を持ち込んでくださるようになり、リサイクル活動の一員として地域に根差した活動基盤を確立できつつあるように感じています。

## 寝具等製造事業

### 【エアリーシリーズ】

25 年度からのアイリスオーヤマのエアリーシリーズは、元年度も引き続き生産を行っています。平成 30 年にエアリー中材の生産所である東洋紡が焼失したことにより、ドイツから中材を輸入するという時期もありましたが、元年度には工場が再開し従来のサプライチェーンが再建され、元の生産状況に戻っています。令和 2 年度も、引き続きエアリーシリーズの寝具類組み立て作業を受注する予定をしています。

### 【田村駒『チューニングピロー』シリーズ】

「田村駒株式会社」よりいただいておりますチューニングピローの製造は、令和元年度も非常に多数の発注をいただきました。ネクストだけでは生産数が追いつかず、近隣 B 型事業所にも製造を委託し協力して作業に取り組みまし

た。昨年の消費増税から年始以降の新型コロナウイルスによる景気不振で年度末には生産依頼が減りましたが、4月以降新たに1万個程度の生産依頼をいただける見込みとなっています。近隣事業所との提携を深め、生産量向上に努めていきたいと思っています。

### 【低反発ウレタンシリーズ】

30年度から開始した低反発ウレタンを中材としたマットレス、枕、クッション等の生産は受注量も増えてきました。また4月以降には、低反発ウレタンの端材をチップ状にしたものを原料とした「トゥルースリーパー座布団」の生産を開始することも予定され、利用者の方に提供できる作業量はますます拡充できることが予想されます。

### 【羽毛製品】

クリーンセンターからの回収布団に占める羽毛布団の割合は一定量あり、安定した原料の確保ができています。今後は「リサイクル羽毛布団の生産・販売」だけでなく、「リサイクル羽毛の原料としての販売」など製造コストを抑えて利益を上げる工夫をフロンティア株式会社とともに進めていきたいと思っています。

### 【軍手】

リサイクル綿を使用した軍手の製造・販売は、フロンティア株式会社のご尽力により、年末から春にかけて多数出荷することができました。新型コロナウイルスによる景気減退で2年度の動静が不明瞭ではありますが、昨年いただいた近隣地域区長会など大口のお客様から引き続き発注いただくなど、ネクスト独自としても販路の拡大がみられます。ただ全体の製造量が増えたことで熟練度の低い方に従事していただくケースが増え、ミスも増えていることから、従事者の技術力アップが喫緊の課題となっています。

## 3. 令和元年度の主な取組

### 安全・防犯・健康を高める事業

#### (1) 八千代工場高圧受変電設備改修

神戸やまぶき財団「第13回平成30年度（後期）」助成決定をいただき、令和元年5月、ネクスト八千代工場の高圧受変電設備改修工事を終えることができました。ネクスト全施設を担当してくださっている「電気管理技術者」から、「設置後相当な年数が経過しているため、早期に改修する」よう指示がありましたところ、神戸やまぶき財団よりご支援をいただき、事業実施に至りました。地絡事故等が起こると近隣地域にも停電などの被害が及ぶとの指摘を受けていましたので、このたびご支援いただき、完工できましたことに心より感謝いたします。今後も近隣の安全にも配慮した事業所運営を目指します。

## (2) 定期健康診断の実施

令和元年度も3月に八千代工場で「定期検診」を実施しました。ネクストで社会保険に加入している利用者・スタッフ全員を対象に毎年実施しています。受診日は送迎車両を使用して4事業所から対象者の送迎を行い、また受診時間中を就労時間に算入し給与保障を行うことで、全員が負担無く受診できる体制を整えています。当日受診できない方は、近隣で実施される予備日の定期健診にて受診を促しており、予備日の受診者も含めて今年度は37名の利用者・スタッフが受診しています。

## 施設・設備に関する取組

### (1) 大型乾燥機増備事業

日本郵便株式会社 年賀寄附金配分事業

公益財団法人愛恵福祉支援財団 2019年度助成金

公益財団法人倶進会 2020年度助成金

令和元年度実施分として、日本郵便株式会社より年賀寄附金配分事業を採択いただき、「大型乾燥機」の増備事業に取り組みました。また乾燥機に付随する設備として愛恵福祉支援財団より「タンク」の増備費用を、そして倶進会より令和2年度実施事業に対する助成をいただき、令和2年度に3台目の大型乾燥機を稼働できる見込みとなりました。数年前から計画し進めてきた事業に、各団体より非常に大きなご支援をいただき、大掛かりな設備を導入することができました。しかし、この度の新型コロナウイルスの影響により、物や人の流れに大きな変化がありました。多額なご支援をいただき、増備したこれらの設備をより助成効果の高い事業にするものとして、令和2年度により有効に稼働させる方法を模索していきたいと思っています。各団体よりいただきましたご支援が私たちの「福祉・環境」に対する取り組みをよりよいものにして行けるよう、事業実施に邁進していきます。

## 4. 事業実施体制

### 【会議に関する事項】

#### ① 通常総会

新型コロナウイルスの蔓延に配慮し通常総会は開催せず、法第14条の9及び定款第29条に基づき、書面表決による決議とした。

#### ② 理事会

開催なし

特定非営利活動に係る事業

定款に定める事業	実施内容	実施日時	実施場所	従業者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費 (千円)
障害福祉サービス事業	就労継続支援A型 (ネクスト)	月～金 9:00～17:00	西脇市 多可町	13	多可町、西脇市、 小野市、丹波市、 加東市在住の障 がい者20名及び 施設外就労20名	152,150
	就労継続支援B型 (econte)	月～金 9:00～17:00	西脇市	6	同上 定員20名	27,199
地域生活支援事業	介護、家事援助等	準備段階	—	1	—	0
地域住民との交流事業	交流スペース運営等	準備段階	—	1	—	0
寝具等のリサイクル事業の 推進及び啓蒙事業	寝具リサイクル事業への 取り組みPRのDVD・ホーム ページ作成 facebook	月～金 9:00～17:00	多可町 関係機関	3	関係機関、一般	0
介護タクシー支援事業の推 進及び啓蒙事業		準備段階	—	1	—	0